

青森県生協連「2014年度理事研修会」開催報告

1. 日 時 2014年8月26日(金) 10:30~14:00

2. 場 所 青森県観光物産館アスパム会議室(5F 白鳥)

3. 出 席 38名

コープあおもり(15名) 青森県庁・県民生協(3名) 津軽保健生協(4名) 青森保健生協(10名) 県生協連(4名) 講師:宮部氏(1名) 日生協:村上氏(1)

4. 当日プログラム

10:30~10:35	開会挨拶:平野 了三 県生協連会長
10:35~12:05	講 義:「生協における役員の職務・責任」 講 師:宮部好広 氏(日本生協連 総合運営本部 会員支援部 部長)
12:05~12:10	質疑応答
12:10~12:40	昼食・休憩
12:50~13:45	グループ交流 テーマ:①講義を聞いての感想 ②私が生協で理事として大事にしたいこと
13:40~13:55	グループ交流発表
13:55~14:00	まとめと閉会:小野寺静子 県生協連常務理事



<講演中の宮部さん>

今年度の理事研修会を青森県観光物産館アスパムで行いました。講師は日生協の宮部氏にお願いをしました。一期目の理事さんから2007年生協法の改正前からの理事さんすべてにわかりやすい内容でわかりやすい図解を交えて講演いただきました。

講演の前段で、生協法が関わる法律の位置(憲法→法令→自治規範)、生協の機関(意志決定機関=総代会、執行機関=理事会、監査機関=監事)についての解説をして、それらをもとに後半は、理事が生協の中で求められる「職務」、「責任」について話されました。他団体の役員の監視・監督責任に関する判例を

引用し、「理事(会)は、基本政策や重要な意思決定機関であることが期待される」と結びました。講演のあと、質疑応答、そして昼食休憩としました。

午後は5グループに分かれ、感想のほか「生協で理事として大事にしたいこと」の一点で交流をし、中身の濃い交流の場となりました。

<グループ交流から>

- ・地域と生協の仲を取り持ち、組合員の代表の立場で事業活動にその声を反映させる。
- ・他生協との協力を重視する。
- ・疑問は放置しないで納得のいくまで常勤役員に説明してもらう。監視・チェックを頭に入れる。
- ・組合員の声を一番に考え、運営に反映させる。
- ・理事という立場でもあるが、一利用者・組合員という立場でも発言し役割を果たしたい。

<参加者の感想から>

- ・理事会等の事前配布資料は必ず目を通し、会議ではわからないことは積極的に質問していく。
- ・理事ではあるがプロではない、市民や消費者の代表として監督、監視を行っていく。
- ・購買生協、医療生協との交流が大変よく、行事でもコラボできれば良いと思う。
- ・グループワークも大事だが、講師の話をもう少し長く詳しく聞きたかった。

<講演を聞く参加者>



<グループ討議>

